

県政報告会を 開催(6月17日)

恒例の県政報告会を約200名の皆様にご参加いただき、開催することが出来ました。これまでの取り組みと成果、また現在の県政の課題等をご報告させていただきました。

多くの皆様にお越しいただきました



甲斐後援会長



ご来賓の
首藤延岡市長



本部延岡市議会議員によるガンバロウ三唱



宮崎県議会議員 田口ゆうじ 議会だより

きあな

第22号 平成26年7月 編集/発行 田口ゆうじ

ごあいさつ

盛夏の候 皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃からのご厚情に心から厚くお礼を申し上げます。

さて3月16日、悲願でありました東九州道の延岡～宮崎間がついに開通いたしました。約半世紀に渡り、建設促進にご尽力いただきました関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。なお今年度中には大分市、福岡市とも繋がる予定で、宮崎県そして延岡をはじめとする県北は、新しい時代を迎えます。これからは、新しい時代を迎えます。これからは、新しい時代を迎えます。このチャンスを企業や観光客等の誘致で、地域発展に寄与できますよう全力を傾注して参ります。



6月定例県議会の一般質問

今号は、6月定例県議会一般質問を執り行いましたので、その一部と最近の活動をご報告させていただきます。

活動フォト

ミニバレーボール交流大会



高速道路開通式



諸塚村で農家民泊
(シイタケのコマ打ち体験)



チーム「グッチーズ」

平成26年度宮崎県予算

「東九州新時代へ～みやざき飛躍予算」として、一般会計…5,733億円 前年比+1.3%、72億円増の積極的な予算となっており、以下の3つを重点施策と位置付け、予算編成が行われました。

1. 将来の発展と地域を支える人財づくり
2. 競争力と成長性のある産業づくり
3. 安全・安心で魅力ある地域づくり



特別会計…1,174億円 (1.4%増) 公営企業会計…439億円 (2.9%増)

今年度の所属委員会等

議会選出監査委員に就任

公正不偏の立場から、県行政の執行が適正に行われているか、あらゆる分野において監視とチェックを行います。

総務財政常任委員会 委員

総合政策及び行財政対策を所管しており、県の総合政策、県税、危機管理、地域の活性化等について審査します。

県政 相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。
TEL/FAX: 0982-26-1945 携帯: 090-5021-7729
田口雄二 住所: ☎882-0004 延岡市榎山町3-841-2
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】 <http://www.yuji-taguchi.com> 田口雄二 検索

6月定例県議会

6月議会は6月6日～24日までの19日間の日程で開催されました。

熊本県で発生した鳥インフルエンザは、本県への拡がりは無く、無事終息を迎えましたが、豚流行性下痢(PED)は、まだまん延しており(6月30日現在死亡頭数30,851頭)、その対策強化事業を含む30億5千万円の補正予算案等を審議し可決しました。

私は2日目に一般質問を行い、①東九州道(延岡～宮崎間)開通に関して、②知事の政治姿勢、③医療福祉、④東九州メディカルバレー構想、⑤教育等々について質問しました。



質問者席で

保健所の厳しい対応について

【質問】 食品を取り扱ううえで、保健所の対応が県によって違い、本県の厳しすぎる基準に県民の不満の声が多い。本県独自の対応か、他県との違いがあるのか伺いたい。

【福祉保健部長】 食品衛生法では、必要な基準を都道府県等が条例で定めることとなっており、本県では食中毒防止の観点から、気候風土など実情に照らし合わせ、基準を定めている。昨年、鮮魚販売の見直しを行うなど、毎年度定期的にまた相談の都度、見直しの検討を行っている。他県との違いがなぜあるのか、具体的な内容を把握し研究してみたい。今後とも食の安全の確保を大切に、食品衛生に関わる状況変化にもしっかり対応し、適切に基準を運用して参りたい。

夕刊デイリー新聞(2014年6月13日)

九保大新学部は追い風 知事メディカルバレー推進期待

河野知事は12日、延岡市の九州保健福祉大学(迫田陽男学長)に来年4月開設予定の新学部について、メディカルバレー構想の一層の推進に寄与するものと期待している」と述べた。県議会6月定例会一般質問で、田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)に答えた。新学部は生命医科学部生命医科学科(仮称)で、

田口議員は「地域発展の鍵を握る施設になるかもしれない。支援についてはどうお考えか」と質問した。知事は、アジアからの医療技術者研修が実施できるように、自治体国際化協会の支援事業に応募して事業資金を確保したことなどを説明。国などへの要望・提案、研究資金の確保に積極的に取り組む」と述べた。

夕刊デイリー新聞(2014年6月13日)

延岡高1MS科 22人が医学系へ 国公立進学、過去10年で最多

飛田洋典教育長は12日、今春卒業した延岡高校メディカル・サイエンス(MS)科1期生のうち、7割以上が現役で国公立大に合格したことを明らかにした。飛田教育長は「一定の成果が出ている」と述べた。県議会6月定例会一般質問で田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)に答えた。MS科は地域医療を担う人材の確保やメディカ

に5人、九州大に5人が理工系学部を中心に合格した。MS科と普通科を合わせた同高校全体でも卒業生241人に対し、国公立大に146人が進学。合格者数は過去10年で最多という。飛田教育長は「ともに学び切磋琢磨(せつさくたくま)することによりさまざまな相乗効果が出てきている」と話した。

宮崎日日新聞(2014年6月13日)

県議会 一般質問

2日目



田口雄二議員(県民連合、延岡市)は、延岡市の九州保健福祉大が2015年4月に新設予定の「生命医科学部生命医科学科(仮称)」に関し、東九州メディカルバレー構想推進の観点から新学部設置を支援する考えはないかを尋ねた。茂雄「商工観光労働部長は「新学部は医療人材の育成や研究開発の面から、メディカルバレー構想のさらなる推進につながる」と答弁。新学部設置への支援については知事が「今後も国などへの要望、提案など研究開発資金確保などに精いっぱい努めたい」と述べるにとどめ、県の直接的支援には言及しなかった。豚流行性下痢(PED)に関しては、田口議員は「PEDと口蹄疫がいずれも発生した農場は県内にいくつあるのか」と質問。緒方文彦農政水産部長は発生した78農場(5月30日現在)のうち、県畜産試験場川南支場を含め12農場が口蹄疫被害を受けていることを説明し「県全体の防疫レベル向上に努めたい」と述べた。

毎日新聞(2014年6月13日)

県知事として…「限界はない」

「乗り越える壁はあるが限界はない」。河野後嗣知事は12日の県議会一般質問で、「県知事として限界を感じている」として国政に転じた東国原英夫前知事を引き合いに出し、次期知事選(2015年1月任期満了)で再選に挑む意気込みを示した。知事選を巡っては、河野知事と前衆院議員の川村秀三郎氏が出馬を表明。衆院議員を辞職した東国原氏も再挑戦が取りざたされている。一般質問で田口雄二議員(県民連合)が「第3の候補(東国原氏)の動きもちらほらしている。知事は限界を感じたことはないか」と水を向けた。河野知事は「県政で困難に直面することは多々あるが、それは限界というより乗り越える壁だ」と答弁。さらに「県民と知恵やネットワークを総動員して壁を乗り越えるのが私の政治姿勢。引き続き県政発展のため日々挑戦したい」と力を込めた。議会後の取材に対し知事は「限界」と言った瞬間にあきらかに遠ざかっている感じがする」と語り、かつて副知事として仕えた東国原氏をけん制した。(門田陽介)

河野知事 再選へ意欲

東国原氏引き合いに

夕刊デイリー新聞(2014年6月13日)

県議会

一般質問



田口雄二議員

田口雄二議員(東九州自動車道4車線化) 交通量の増加が前提

日、一般質問第2日があり、県北関係は田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)が登壇した。主な質疑応答は次の通り。

「日、一般質問第2日があり、県北関係は田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)が登壇した。主な質疑応答は次の通り。」

1期から10期が55%、11期以降は71%と近年は高くなりつつある。【渡邊亮一病院局長】延岡市夜間急病センターは延岡病院は県北地域の中核病院で重要な役割を担っているが、医師の多くは大学の医局から病院を指定して派遣されており、県の判断で派遣するのは難しい。県北地方の医療状況の厳しさは承知している。地元との連携を密にして、延岡病院が地域の中核病院の役割を果たせるようにしたい。

「県民連合宮崎」を結成(2月12日)

民主党3名、社民党3名の県議会会派が合流し、6名で「県民連合宮崎」を立ち上げました。これにより、自民党に次ぐ第2会派となりました。鳥飼会長(社民)、渡辺幹事長(民主)、高橋政審会長(社民)の体制で、中道リベラルの旗の下、議会の活性化に努め、また県執行部とも程よい緊張感の中、宮崎県の発展に力を注いで参ります。



結成時の記者会見